



パンフレット BP001
1999年 9月作成
工 業 用

シルク用フィックス剤

シルクフィックス 3 A (S I L K F I X 3 A)

シルクフィックス 3 A はポリアミン系縮合物を主成分としたシルク用フィックス剤です。直接染料、反応染料、酸性染料等で染色されたシルク染色物の洗濯・汗・水等の湿潤堅牢度向上に優れた効果を発揮します。

また、酢酸、蟻酸等で処理浴 pH を約 4.0 に調整し、40 ~ 45 の低温処理を行うと、シルク繊維本来の触感、絹鳴り、光沢等に対して悪影響を与えることなく、より優れた堅牢度向上効果を発揮します。

性 質 ・ 性 状

外 観	淡黄色粉末
成 分	ポリアミン縮合物
イ オ ン 性	カチオン
p H	約 7.0 (1 % 水溶液)
溶 解 性	60 以上の温湯で透明に溶解します。

特 徴

- 1 . シルクフィックス 3 A はシルク / 直接染料、反応染料、酸性染料等染色物の洗濯・汗・水等の湿潤堅牢度向上に優れた効果を発揮します。
- 2 . シルクフィックス 3 A は酢酸や、蟻酸等で処理液 pH を 4.0 に調整し、処理を行うことにより、さらに優れた堅牢度向上効果を発揮します。



使用 方 法

溶解方法

必要量のシルクフィックス3Aに10～20倍量の熱湯（60～80℃）を徐々に加え、均一溶解させた後、ご使用下さい。

普通処理法

使用する染料の種類・濃度、被染物の種類・形態、処理法により異なりますが、一般的には下記の通りです。

染料濃度	シルクフィックス3A使用量
淡 色	0.5 % o.w.f.
中 色	1 % o.w.f.
濃 色	2 ~ 3 % o.w.f.

60℃ × 10～15分処理した後、水洗します。

酸性浴処理法

上記シルクフィックス3Aの処理浴を酢酸または蟻酸でpHを4.0に調整後、40～45℃ × 10～15分間処理し、水洗します。

脱フィックス処方

シルクフィックス3Aの脱フィックス処方としては、還元酸化処理法または酸処理法が効果的です。

還元 - 酸化法

還元工程

（	ヒドロサルファイト	3 ~ 5 g / L	90 ~ 100℃ × 20 ~ 30分
）	ソーダ灰	1 ~ 2 g / L	

酸化工程

（	過酸化水素（3.5%）	3 ~ 5 cc / L	90 ~ 100℃ × 20 ~ 30分
）	ソーダ灰	1 ~ 2 g / L	
）	EDTA・4Na	0 ~ 1 g / L	
）	エフカッター800	2 ~ 3 g / L	



- ・含金属系染料により染色されている場合や、用水中の金属イオン濃度が高い場合等、金属によるトラブルが生じるおそれのある場合には、酸化処理浴にキレート剤（EDTA・4Na等）を併用して下さい。
- ・酸化処理後、繊維上に過酸化水素が残留しないよう十分に水洗して下さい。（必要に応じて、脱過酸化水素処理を行って下さい。）
- ・被染物の色相、フィックス剤の使用量によっては還元工程でエフカッター800を使用し、酸化工程を省いた一浴一段処理法によっても脱フィックス可能です。

酸化処理法（被処理物の脆化にご注意下さい）

〔	シュウ酸	1 ~ 3 g / L	50 ~ 60	× 20 ~ 30分
	エフカッター800	2 ~ 3 g / L		

- ・酸性条件下での処理となりますので被処理物の脆化にはご注意ください。
- ・また、繊維上にシュウ酸が残留しないよう十分に水洗して下さい。

使用上の注意

- ・最高の湿潤堅牢度を発揮させるためには、処理温度を60 ~ 70 とすることが必要で、酢酸を加えず、そのまま処理を行います。
もしpHが3.4以下で処理した場合、またはアルカリサイドでの処理を行った場合には、効果が低下します。

ご 注 意

使用に際しましては充分試験の上ご使用下さい。

入 目

20 kg



取扱いおよび保管上の注意事項

- 1) 取扱い中は、直接身体に触れないように保護手袋、保護メガネおよび防塵マスクを着用して下さい。
- 2) もし誤って眼や口に入ったときは、直ちに流水でよく洗い流し医師の手当てを受けて下さい。
- 3) 皮膚に直接触れた場合は、直ちに流水でよく洗い流して下さい。もし発疹その他の異常が生じた場合は速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 4) 取扱い後は手洗い、うがいを充分に行ってください。
- 5) 使用途中の容器は密閉し、異物が入らないようにして下さい。
- 6) 保管に際しては直射日光を避け、冷暗所（5 ～ 35 ）で保管して下さい。
- 7) 廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。

お 願 い

弊社発行の「製品安全データシート（MSDS）」を用意しております。併せてご活用下さい。